

平成 25 年 9 月 日

# 東 北 大 学 総 長 殿

本人

受験記号番号		受験記号番号については、学部新生のみ記入すること。		
学籍番号	B3S	所属研究室名		内線

学籍番号は最新のものを記入すること。未決定の場合は現在の番号を記入し、( )でくくってください。

入学等年度 平成 25 年度 ※ 4月・10月 (編・転・再・入学・進学)

所 属 理学 ※ (学部 研究科)  
 ※ (学科・系 専攻)

右記学生を学業優秀と認める。	
指導教員 署名捺印	氏名  印

※ ( 博士 前期 )  
 ( 博士 後期 )  
 ( 博士 医・歯 )

学部学生は必要ありません。

フリガナ

氏 名 (自署)

022-795-5829

住 所 (〒981-0935)

TEL(携帯) (国際交流推進室 DIRECT)

仙台市青葉区三条19-1 UH三条II

E-mail :

家族の住所 (〒 - )

TEL

## 授 業 料 免 除 願

下記の理由により授業料の納付が困難なので、平成 25 年度(※前期・後期)授業料の免除を許可くださるようお願いいたします。

【注意：授業料免除申請は、学期ごとに行ないます。通年での申請はできませんのでご注意ください。】

授業料の納付が困難な理由(本人が具体的に記入すること。東日本大震災により納付が困難になった場合は、その事実も含めて記入すること。)

-----  
 -----  
 -----  
 -----  
 -----  
 -----  
 -----  
 -----  
 -----

(主たる家計支持者が無職・失職中の場合、その年月、生活費の出所)

授業料年額	535,800 円	直前の学期の授業料免除 ※ 全額免除 半額免除 3分の1免除 不許可	未申請
-------	-----------	------------------------------------	-----

## 授 業 料 徴 収 猶 予 願

授業料の免除について、不許可、半額免除又は3分の1免除と決定された場合は、授業料の徴収猶予を許可くださるようお願いいたします。

注意：徴収猶予の最終期限は、前期分は9月の口座引落日、後期分は3月の口座引落日とする。ただし、卒業、修了予定者の前期分については、8月の口座引落日、後期分については、2月の口座引落日とする。

(注)※印のところは、該当事項を○で囲むこと。

○ 授業料免除に関して取得した個人情報、 「国立大学法人東北大学個人情報保護規程」に基づき取扱い、当該利用目的以外には使用しません。

1. 願書の書き方(記入例)により正確に記入すること。  
 2.  欄は大学認定のため記入しないこと。

氏名		学籍番号		B 3 S		0 0						
続柄	氏名	年齢	現在の職業	在職年数	勤務先	給与等収入	給与等収入以外の所得(臨時所得を除く。)	給与等収入の計(税込)(千円)	給与等収入以外の所得計(千円)			
本人						千円	千円	15	20			
就学者を除く家族 (家計支持者に○)	父			年		千円	千円	25	30			
	母			年		千円	千円	35	40			
				年		千円	千円	45	50			
				年		千円	千円	55	60			
				年		千円	千円	65	70			
				年		千円	千円	75	80			
臨時所得 (6か月以内のもの)	所得の種類		受入月日		所得者名		収入金額		必要経費		臨時所得認定額	
	退職金		平成 年 月 日				千円		千円		千円	
	保険金		平成 年 月 日				千円		千円		千円	
	譲渡所得		平成 年 月 日				千円		千円		千円	
	山林所得		平成 年 月 日				千円		千円		千円	
本人	通学区分 ※115 1:自宅通学 2:自宅外通学			本年度日本学生支援機構奨学金受給状況 ※116 1:一種 2:二種 3:併用 4:なし								
	本年度受給給付奨学金(予定含む) (本年4月~来年3月)			奨学金名称:( ) 受給額( )千円 奨学金名称:( ) 受給額( )千円 *日本学生支援機構等の貸与奨学金は対象外のため、記入しないこと。			受給額(千円) 117					
就学者	続柄 氏名(年齢)		設置区分		在学学校(学年)				通学区分			
	(才)		※121 1:国立 2:公立 3:私立		※122 1:小学校 2:中学校 3:高等学校 4:大学 5:高等専門学校(1~3年) 6:高等専門学校(4・5年) 7:専修学校(高等課程) 8:専修学校(専門課程) 学校名 (年)				※123 1 2 自 自 宅 宅 外			
	(才)		※129 1:国立 2:公立 3:私立		※130 1:小学校 2:中学校 3:高等学校 4:大学 5:高等専門学校(1~3年) 6:高等専門学校(4・5年) 7:専修学校(高等課程) 8:専修学校(専門課程) 学校名 (年)				※131 1 2 自 自 宅 宅 外			
	(才)		※137 1:国立 2:公立 3:私立		※138 1:小学校 2:中学校 3:高等学校 4:大学 5:高等専門学校(1~3年) 6:高等専門学校(4・5年) 7:専修学校(高等課程) 8:専修学校(専門課程) 学校名 (年)				※139 1 2 自 自 宅 宅 外			
	(才)		※145 1:国立 2:公立 3:私立		※146 1:小学校 2:中学校 3:高等学校 4:大学 5:高等専門学校(1~3年) 6:高等専門学校(4・5年) 7:専修学校(高等課程) 8:専修学校(専門課程) 学校名 (年)				※147 1 2 自 自 宅 宅 外			
	(才)		※153 1:国立 2:公立 3:私立		※154 1:小学校 2:中学校 3:高等学校 4:大学 5:高等専門学校(1~3年) 6:高等専門学校(4・5年) 7:専修学校(高等課程) 8:専修学校(専門課程) 学校名 (年)				※155 1 2 自 自 宅 宅 外			
特別控除額	母子・父子世帯		※父 死亡・生別 ( 年 月 ) 養育費(月額 千円) 遺族年金(月額 千円) ※母 死亡・生別 ( 年 月 ) ※年金通知等添付		201		0:該当せず 1:該当					
	障害者のいる世帯		氏名( ) ※障害者( 級)・原爆被爆者(障害有)・公害疾病・知的障害等・複雑な介護 氏名( ) ※障害者( 級)・原爆被爆者(障害有)・公害疾病・知的障害等・複雑な介護		202		人					
	長期療養者のいる世帯 (6か月以上)		続柄・氏名( ) 療養期間 年 月から ※入院・通院 領収書等の写し添付(最近6か月分) 千円		203		合計(年額)(千円)					
	主たる家計支持者が別居している世帯		続柄・氏名( ) 療養期間 年 月から ※入院・通院 領収書等の写し添付(最近6か月分) 千円		208							
	火災・風水害・盗難等の被害を受けた世帯		被災年月日 年 月 日 被災内容(証明書添付): 被害額( 千円) 補償額( 千円)		213							
	大学認定欄		家族数 218 人		学力 223 0:不適格 1:適格		申請区分 224 1:一般 2:家計の特例 3:学力の特例 4:特別の事由 5:事情(家計支持者死亡) 6:事情(災害) 7:事情(その他)					
227 辞退 <input type="checkbox"/>						授業料						



授業料免除願書の書き方 Instruction for Completing Tuition Waiver Application Form

1. この頁は、複写になっていますので、2枚目に写すよう記入し、切り離さないで提出してください。  
 1. Enter the necessary items so as to copy them in the duplicate sheet. Submit the sheets without separating them.  
 2. ※印のところは、該当事項を○で囲むこと。  
 2. For the items marked with \*, encircle the appropriate items.  
 3. 太線の枠内は、大学認定のため記入しないでください。  
 3. Do not fill in the items inside the thick line frame. These items are for the certification by the University.

就学者以外の生計を一にする家族を記入する。  
 「続柄」欄の左上に主たる家計支持者に○印、家計支持者と別居している者に×印を付ける。  
 父又は母が死亡・生別の場合は、氏名を( )でくくり、その年月等を『特別控除額』の「母子・父子世帯」欄に記入する。  
 就職して別居・独立した兄弟姉妹は、家族に含めず記入しないこと。  
**私費外国人留学生は日本にいる家族についてのみ記入**すること。  
**Foreign students paying their own tuition must indicate ONLY family members living in Japan.**  
 Indicate the family members with the same livelihood except for those enrolled in school.  
 In the upper left of the "Relationship" column, encircle the main family finance supporter, and mark a cross against the family members who live separately from the family finance supporter.  
 In the case where your father or mother is dead or lives apart, put his/her name in brackets, and enter the date of death/separation in the column of "Single-Parent Household" in the "Special Deduction."  
 Do not include siblings who separated/became independent after they landed a job in your family. (Not to indicate them.)

臨時所得の「収入金額」欄は、次の期間に支払を受けた金額を記入すること。  
 In the "Income Amount" column in Extra Income, indicate the amount paid in the following period.  
 \*前期申請…前年10月1日から当年3月31日までの間  
 (本年4月～来年3月)  
 \* First Semester: From October 1 of previous year to March 31  
 \*後期申請…当年4月1日から9月30日までの間  
 \* Second Semester: From April 1 to September 30

前期申請は4月現在、後期申請は10月現在の就学者について記入する。特に、前期申請の場合は、3月卒業(見込)及び4月入学(見込)の兄弟等に注意すること。  
 Indicate your family members enrolled in school as of April for the first semester and as of October for the second semester. In the case of the first semester, pay attention to siblings who (are expected to) graduate in March and (are expected to) enroll in April.

「特別控除額」欄は、別掲に基づき、該当する事項に○印又は所要事項を記入すること。  
 In the "Special Deduction" column, encircle the appropriate items or enter the required items based on the separate paragraph.

会社員、地方公務員、洋服仕立業、雑貨品販売業と具体的に記入すること。なお主婦、家事手伝い、無職等もその旨を記入し、空欄にしないこと。  
 Describe specific occupations such as office worker, local government official, tailor, sundries retailer, etc. In the case of housewife, domestic helper, and unemployed person, indicate so without leaving the column blank.

学籍番号は、左詰で記入し余白は「0」を記入する。  
 Left-align the Student No., and enter "0" in the blank space.

1. 願書の書き方(記入例)により正確に記入すること。 2. 欄は大学認定のため記入しないこと。		氏名	Your name		学籍番号	Student ID		0 0	
続柄	氏名	年齢	現在の職業	在職年数	勤務先	給与等収入	給与等収入の計(税込) (千円)	給与等収入以外の所得計 (千円)	給与等収入以外の所得計 (千円)
本人									
就学者を除く家族(別居している者)									
父									
母									
	Relationship		Years worked/Grade		Name of employer/School				
	Name		Amount of salary/Income besides salary						
	Age								
	Current occupation								
所得の種類	受入年月日	所得者名	収入金額	必要経費	臨時所得総額				
退職金	平成 年 月 日		千円	千円	千円				
保険金	平成 年 月 日		千円	千円	千円				
譲渡所得	平成 年 月 日		千円	千円	千円				
山林所得	平成 年 月 日		千円	千円	千円				
通学区分	※115	本年度日本学生支援機構奨学金受給状況		※116					
1: 自宅通学	2: 宅外通学			1: 一種 2: 二種 3: 併用 4: なし					
本年度受給奨学金(予定含む) (本年4月～来年3月)	奨学金名称: ( )		受給額 ( ) 千円	奨学金名称: ( )		受給額 ( ) 千円			
Scholarship due to receive by March 2014									
氏名(年齢)	設置区分	在学学校(学年)			通学区分				
1: 国立	1: 小学校	2: 中学校	3: 高等学校	4: 大学	1: 1	2: 2	3: 3	4: 4	5: 5
2: 公立	5: 高等専門学校(1~3年)	6: 高等専門学校(4~5年)	7: 専修学校(高等課程)	8: 専修学校(専門課程)	6: 6	7: 7	8: 8	9: 9	10: 10
3: 私立	9: 専修学校(専門課程)								
母子・父子世帯	父 死亡・生別 (年 月)	母 死亡・生別 (年 月)	300 0: 該当せず 1: 該当						
障害者のいる世帯	氏名( ) 密障害者( ) 職)・原簿被爆者(障害者)・公害疾病・知的障害等・複雑な介護 氏名( ) 密障害者( ) 職)・原簿被爆者(障害者)・公害疾病・知的障害等・複雑な介護	302 人							
長期療養者のいる世帯(6か月以上)	続柄・氏名( ) 療養期間 年 月 日から 年 月 日まで 入院院・通院 領収書等の写し添付(最近6か月分) 千円	合計(年額)(千円)							
主たる家計支持者が別居している世帯	続柄・氏名( ) 療養期間 年 月 日から 年 月 日まで 入院院・通院 領収書等の写し添付(最近6か月分) 千円	千円							
被災・風水害・盗難等の被害を受けた世帯	被災年月日 年 月 日 被災内容(証明書添付) 千円 被災額 (千円) 補償額 (千円)	213							
大学認定欄	家族数 218	人 学力 223	申請区分 224 1: 一般 2: 家計の特例 3: 学力の特例 4: 特別の事由 0: 不適格 1: 通格 5: 事情(家計支持者死亡) 6: 事情(災害) 7: 事情(その他)		授業料				

「給与等収入」は、俸給、給与、賃金、役員報酬、歳費、賞与、恩給及びアルバイト収入のほか年金、生活保護扶助料、失業給付金、自営業の専従者給与等が該当するが、所得の種類により次のとおり記入すること。  
 \* 給与所得...「源泉徴収票」の「支払金額」欄の金額  
 \* 年金及び扶助料...前年の受給年額  
 \* 専従者給与...確定申告書B第二表の「事業専従者に関する事項」の金額  
 "Salary and Other Allowances" correspond to the pension, welfare allowance, unemployment benefits, salary of family business employees, etc. in addition to the stipend, salary, wage, executive remuneration, annual expense, bonus, retired income, and part-time job income. Indicate the amount according to the type of income as follows.  
 \* Salary income: Amount indicated in the "Paid Amount" column in the "Withholding Tax Certificate"  
 \* Pension and aid allowance: Annual amount for the previous year  
 \* Salary of family employee: Amount indicated in the "Item concerning Family Business Employees" in Table 2 of the Final Income Tax Return Form B.

「給与等収入以外の所得」には、商、工、農、漁業等の所得が該当するが、「所得金額」は、次により記入すること。  
 "Income Other than Salary and Other Allowances" corresponds to the income from commerce, manufacture, agriculture, forestry and fisheries, etc. Indicate the "Income Amount" as follows.  
 \* 確定申告書B第一表「所得金額」の①～⑤の金額の合計金額を記入すること。  
 \* Indicate the total amount of [1] to [5] of "Income Amount" in Table 1 of the Final Income Tax Return Form B.

入学後採用された日本学生支援機構奨学金については、該当する番号を選択する。  
 未定の場合は、4を選択すること。  
 This column is for Japanese students only.

本人が本年度1年間(本年4月～来年3月)に受給する(予定含む)給与奨学金について記入する。  
 なお、奨学金については、その名称を記入すること。  
 Indicate the scholarship benefits to be received (expected to be received) during this year (from this April to next March) by the student.

所得記入上の注意 Notices for Indicating Income

- 所得は、前年1月から12月の1か年間の収入金額を基にして記入すること。なお、出願の時期によっては、所得「証明書」の金額は、前々年の分となっていることがあるが、そのときは、源泉徴収票又は確定申告書の写しによって前年1月から12月の所得を記入すること。  
 1. Indicate the income amount based on the annual income amount from January to December of the previous year. Depending on the timing of application, the amount of the year before last may be indicated in the "Certificate" of income. In this case, indicate the income amount from January to December of the previous year based on the withholding tax certificate or a copy of the final income tax return.
- 同一人で2種類以上の所得があるときは、適宜上下に区分し記入すること。ただし、いずれも給与等収入の場合は合計した金額を記入すること。  
 2. When a person has more than one type of income, indicate them in the upper and lower parts of the same column. However, when all incomes correspond to salary and other allowances, indicate the total amount.
- 前年1月以降に転職、退職、新規就職等の異動(営業の場合も含む)がある場合は、所得金額算定方法を事前に担当係から指示を受けること。  
 3. When there is a change in the employment situation (including in the case of sales) such as occupational change, retirement, new employment, etc. after January of the previous year, receive instruction beforehand from the person in charge about the income amount calculation method.
- 所得金額等の単位は、すべて千円とし、千円未満は切り捨てること。  
 4. The income amount, etc. must all be in units of 1,000 yen. Round off the digits of less than 1,000 yen.

(別掲) 「特別控除額」欄の各項目に該当する事由

- 「母子・父子世帯」欄は、世帯の構成が次のいずれかの場合に該当する。  
 (1) 母又は父と18才未満の子女の世帯  
 (2) (1)の世帯で、かつ60歳以上で経済力の無い祖父母の世帯  
 (3) 18才未満の子女の世帯  
 (4) (3)と祖父母の世帯(祖父母は経済力があっても良い)  
 (5) 配偶者のいない兄弟と18才未満の子女の世帯  
 (6) (5)と60歳以上で経済力の無い祖父母の世帯  
 【注】①18才以上の兄弟等でも就学、長期療養等で経済力の無い者は、18才未満として取り扱う。  
 ②「経済力のない祖父母」とは、前年の所得金額が50万円以下のことをいう。  
 ③祖父母及び兄弟には、それぞれ一方だけの場合も含む。
- 「障害者のいる世帯」欄は、家族が次のいずれかに該当すること。  
 (1) 身体障害者福祉法に基づき「身体障害者手帳」の交付を受けている人又は、これに準ずる人。  
 (2) 公害疾病の認定を受けた者でかつ当該公害による身体上の障害がある人。  
 (3) 原簿被爆者で身体の機能に障害のある人。  
 (4) 精神上の障害により事理を弁識する能力を欠く状況にある人若しくは知的障害のある人と判定される人。  
 (5) 常に就床を要し複雑な介護を要する者。  
 【注】(2)～(5)に該当する場合は、詳細な状況を「理由」欄に記入すること。
- 「長期療養者のいる世帯」の欄は、出願時現在において6か月以上にわたる療養中の者又は、治療を必要と認められる者がいて、療養のため特別に支出がある場合に該当する。支出した療養費等とは、次のとおりとするが、健康保険等から補填された金額は除くこと。  
 (1) 医師又は歯科医師に対して支払う診療代又は治療代  
 (2) 病院等へ入院するため支出する費用(入院患者の食費を除く)  
 (3) あんま師、はり師、きゅう師、柔道整復師等の治療を受けるため支出する費用  
 (4) 看護人に対して支払う費用(看護人に対する賄費を含む)  
 (5) 治療又は療養のため支出する医薬品代  
 (6) 病院等へ通院するために支出する交通費(必要不可欠と認められるものに限る)  
 (7) 介護保険法により「要介護認定・要支援認定」を受けた者が介護サービスを利用した場合の自己負担金10%。
- 「主たる家計支持者が別居している世帯」欄は、家計支持者が単身赴任等による別居のため、特別に支出している金額がある場合に該当する。特別に支出している金額とは、住居費、光熱・水道費等の実費に限る。なお、勤務先から単身赴任手当等で補填される場合は、支出額から差し引くこと。

「火災・風水害・盗難等の被害を受けた世帯」の欄は、次の(1)に該当し(2)により算定する。  
 (1) 出願の前年から出願時まで被害を受けたため支出が増えたり収入が減少して、将来長期(2年以上)にわたり著しく困窮状態におかれると認められる場合  
 (2) 被害額は、次により算定すること  
 ①日常生活を営むために必要な資材等に被害を受けた場合  
 最低限度の衣料、家具の購入費等、修理被費  
 ②生産手段(田、畑、店舗等)に被害を受けた場合  
 長期にわたって収入減を予想される年間金額  
 ③所得税の雑損控除を受けた場合は、その雑損控除金額